

2035~ 2045

NA-10

先人のデータをインプットした擬人化AIやロボット技術により、先人も一人の鳥取県民となって、担い手不足の解消や地域活性化の活動を行うようになる

概要

AI・ロボットに個人のデータをインプットすることで、本人のように振る舞うことができる擬人化AI・ロボット技術が発展する。人口減少、少子高齢化が進む鳥取県では、この技術を活用し地域の担い手不足解消や地域活性化につなげるようになる。例えば、長年鳥取県に住んでいた人のデータをインプットした擬人化AI・ロボットが鳥取県の歴史や伝統技術等を教える仕事や専門的な知識を生かした地域活動などに従事することで、先人の知恵を生かした教育や地域活性化につなげることができる。そして、擬人化AI・ロボットも一人の鳥取県民として扱われるようになり、擬人化AI・ロボット共存県として全国的に注目される。

変化のポイント(商品・サービス/価値観・行動/業界/などの変化)

いままでは

先人の価値観や経験を受け継ぐことが難しかった



これからは

先人も1人の県民として扱われ、その価値観や経験を直接学べる